

平城宮跡歴史公園(県営公園区域)のにぎわいづくりに向け、令和6年度にとりまとめた平城宮跡のあり方を踏まえ、民間事業者を選定するための事業手法・事業者選定条件について、平城宮跡周辺エリア部会に設けたワーキンググループにて議論を深めました。

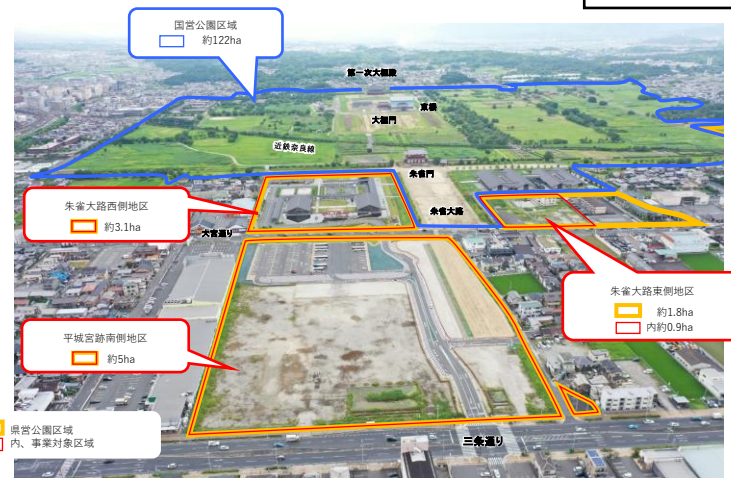
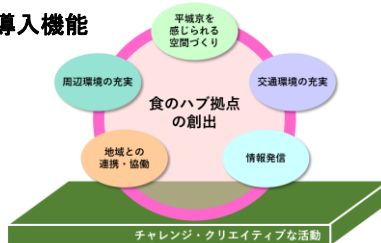
令和6年度 平城宮跡のあり方のとりまとめ

平城宮跡のあり方となる「構想・コンセプト」と「導入機能」をとりまとめ

■構想・コンセプト

“日本の食のはじまりは奈良”
世界と交わり・地域とつながる空間づくり

■導入機能



令和7年度 民間事業者を選定するための事業手法・事業者選定条件のとりまとめ

ワーキンググループ

(事務局:まちづくり推進局)

■構成

①事業手法・事業者選定条件

②奈良の食文化

③ランドスケープ

④情報発信・コンテンツ

ワーキンググループ	座長	役職等	専門
①事業手法・事業者選定条件	鶴殿 裕	一般財団法人ローカルファースト財団 理事 主席研究員 国土交通省PPPサポーター	ファイナンス
②奈良の食文化	杉山 尚美	ガストロノミー・ツーリズム研究所 CEO	食
③ランドスケープ	平賀 達也	株式会社ランドスケープ・プラス 代表取締役	ランドスケープ
④情報発信・コンテンツ	大木 秀晃	株式会社OOAA クリエイティブディレクター	marketer

■検討状況

- | | |
|--------|-------------------------|
| 5月 | ・ ワーキンググループの立ち上げ |
| 6月～12月 | ・ 事業手法、事業者選定条件のアイデア出し |
| 1月～2月 | ・ 事業手法(案)、事業者選定条件(案)の検討 |
| 3月 | ・ 事業手法、事業者選定条件のとりまとめ |

各WGでの 主な意見

- ・ 食をテーマとした平城宮跡を拠点に、県内各地へ着地型観光につなげる。【②】
- ・ ハブ性、体験、チャレンジ・クリエイティブをキーワードとする。【②、④】
- ・ 情報発信には、事前、事中、事後の三段階がある。誰が、どの段階の発信する情報なのかを意識する必要がある。【④】
- ・ チャレンジ・クリエイティブな活動を行う人が集まれるプラットフォームがあると望ましい。【④】
- ・ HIA(遺産影響評価)や景観計画等を踏まえ、平城宮跡、景観への配慮が必要。【③】
- ・ 大宮通りの横断施設など、官民の役割分担の整理が必要。【③】
- ・ 事業手法はPFI法に基づくPFI事業を軸に考えていく。【①】
- ・ 民設民営の方針のもとで事業者を選定するならば、都市公園における建蔽率を踏まえ検討する必要がある。【①、③】

各ワーキングの意見を踏まえ、令和8年度に民間事業者を選定します。

スケジュール

